

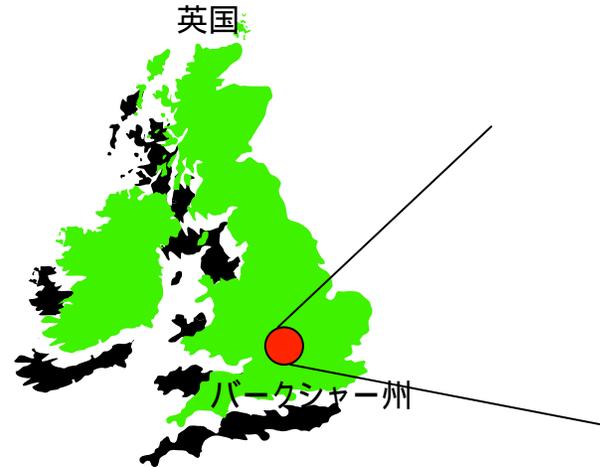
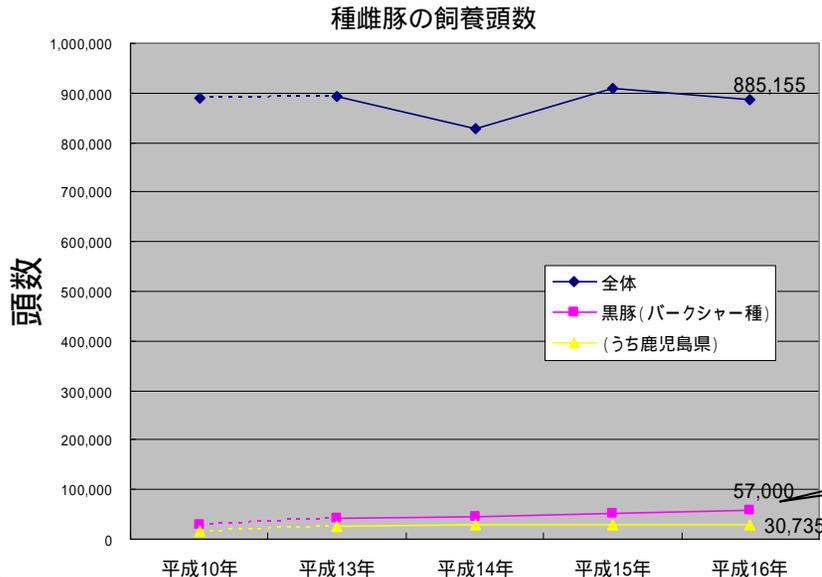
黒豚の現状について

黒豚について

イギリスのバークシャー州を原産地とするバークシャー種が明治時代に導入され、鼻端、四肢、尾端以外の全身が黒いことから日本においては「黒豚」と呼ばれるようになった。

一般的には他の品種(白豚)よりも発育が遅く、産子数も少ない。肉は赤みが鮮やかで柔らかく、ロースが大きい。

鹿児島県ではイギリス系バークシャーをもとに改良を進め、サツマイモなどの特別な飼料を与えて育てた「かごしま黒豚」が有名。



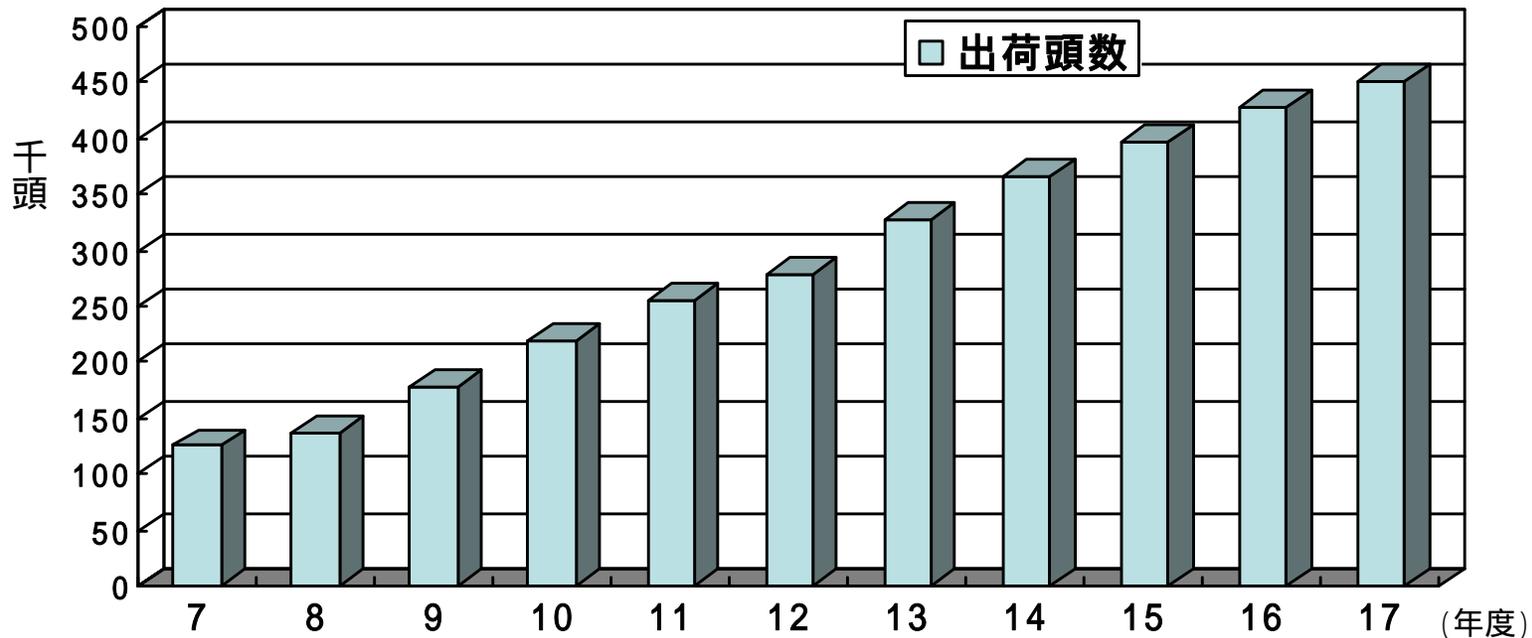
- ・種雌豚の飼養頭数は全品種に対して6.4%程度
 - ・うち5割強が鹿児島県で飼養されている。
- (資料: 家畜改良関係資料、鹿児島県庁)

黒豚の出荷頭数の推移

鹿児島県における黒豚の出荷頭数は10年前に比べ3.5倍に増加し、平成17年度では約45万頭。

全国の黒豚出荷頭数の統計はないが、鹿児島県と全国の種雌豚頭数から推測すると全国では79万頭程度(16年度)と試算される。

鹿児島県の黒豚出荷頭数



(鹿児島県畜産課調べ)

黒豚の価格について

黒豚は市場取引が少なく相対取引が多い。

一般的には白豚に比べて100～200円/kg高い価格で取引される。

中央卸売市場平均卸売価格

(平成17年度、食肉流通統計)

上規格 475 円/kg

中規格 448

並規格 404

黒豚の卸売価格

(関係者等への聞き取り)

660 円/kg

580

470

+185

+132

+66

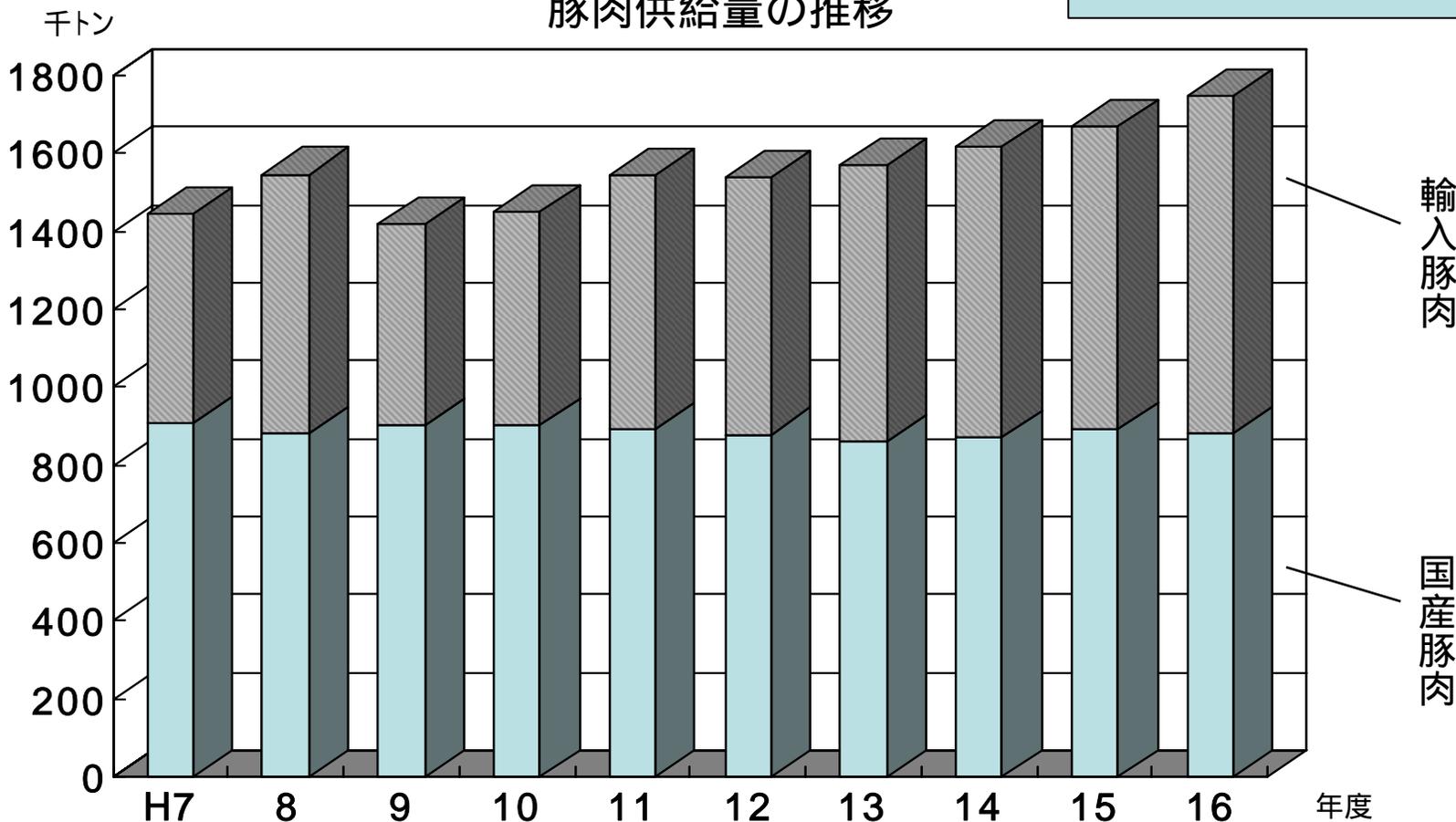
豚肉供給量の推移

国内に供給されている豚肉の約5割が輸入豚肉。

国産豚肉のうち黒豚肉のシェアは約5%程度(16年度)と推測。

79万頭(黒豚出荷頭数推計) 5%
1648万頭(全体出荷頭数)

豚肉供給量の推移



資料: 国産豚肉「食肉流通統計」、輸入豚肉「日本貿易統計」